

実績報告 個人申請用 量産型登録蓄電システム

平成26年度
補正予算

定置用リチウムイオン蓄電池
導入支援事業費補助金

申請書作成にあたって

- ❗ 応募要領に記載されている内容をあらかじめご了承いただいた上で、提出してください。
- ❗ 申請書類は如何なる理由があってもその内容に虚偽の記述を行わないでください。
- ❗ 申請書類がコピーの場合は文字がはっきり読みとれるものを提出してください。
- ❗ 申請書類は貼り付け台紙にホッチキス留めしてください。
ホッチキスで留めることができない場合は、クリップ等で留めてください。
- ❗ 申請書類を全て揃えた上で、提出してください。
- ❗ 申請書類はコピーをとり、大切に保管してください。
- ❗ 封筒表面に赤字で「補助金申請書在中」と必ず記入してください。



申請書類チェックシート 実績報告 個人申請用

様式

チェック

1. 申請者にてご用意いただく書類

実績報告書 兼 取得財産等明細表

1

補助金及び実績報告に関する同意書

2

補助金振込口座登録用紙

3

通帳・口座証明書(コピー)

4

蓄電システム 領収書(コピー)

5

蓄電システム 出荷証明書(コピー)

8

蓄電システム 銘板写真

9

蓄電システム 設置完了写真

10

2. 販売事業者にてご用意いただく書類

蓄電システム 領収金額内訳書

6

3. 設置事業者にてご用意いただく書類

蓄電システム 設置・引渡し完了証明書

7

申請書類の提出先

〒115-8691
赤羽郵便局私書箱45号
一般社団法人 環境共創イニシアチブ(SII) 審査第三グループ
リチウムイオン蓄電池補助金 申請担当宛て

定置用リチウムイオン蓄電池導入支援事業費補助金交付規程第12条に基づき、以下のとおり補助事業の完了を報告するとともに、補助申請金額を請求し、本補助金実績報告書兼取得財産等明細表の写しを取得財産管理台帳とします。

交付決定番号	※交付決定通知書に記載されている 交付決定番号を記入してください。	記入日	平成	年	月	日
申請者氏名	フリガナ 氏	名	携帯番号	0	0	—	—
			電話番号	()	—		
申請者現住所 (書類送付先)	フリガナ 〒.....	都 道 府 県	市 区 町 村	建物名・部屋番号がある場合は必ず記入してください。			

↓蓄電システムの設置場所について該当するものにチェックしてください。

設置場所情報	工事区分	<input type="checkbox"/> 新築	<input type="checkbox"/> 既築			
	建物区分	<input type="checkbox"/> 戸建住宅	<input type="checkbox"/> 共同住宅(専有部分)	<input type="checkbox"/> 共同住宅(共用部分)	<input type="checkbox"/> 事業所	
	↓設置場所の住所が、上記の申請者現住所と異なる場合のみ記入してください。					
蓄電システムの 設置場所住所	フリガナ 〒.....	都 道 府 県	市 区 町 村	建物名・部屋番号がある場合は必ず記入してください。		

↓補助金計算方法については応募要領を必ず確認してください。なお、計算結果はSIIホームページにて確認してください。

設置機器・ 補助金情報	メーカー名					
	パッケージ型番	※パッケージ型番は「- (ハイフン)」や「/ (スラッシュ)」等まで 正しく記入してください。				
	↓1円単位まで正確に記入してください。					
	設置機器金額 (税抜)	億	百万	千	円 (税抜)	※蓄電システム契約金額内訳書を参照して記入してください。
補助申請金額	百万	千	円	円	※補助対象経費に補助率を乗じた金額が、蓄電システム毎の 補助上限額【(A値-B値)×2/3】を超える場合は、蓄電 システム毎の補助上限額を記入してください。また、前述で 算出した金額が設置場所毎の補助上限額(100万円)を 超える場合は、100万円と記入してください。	

↓申請の代行者を第三者に依頼した場合のみ記入してください。(担当者氏名・担当者連絡先は漏れなく記入してください。)

申請代行者情報	事業者名	フリガナ	支店・ 部署名	フリガナ			
	担当者 氏名	フリガナ 氏	携帯番号	0	0	—	—
		名	電話番号	()	—		

申請される方は本申請書のコピーをとり、お手元に大切に保管してください。
申請書に不備がある場合は、原則申請書類一式を申請者に返却します。

(備考)用紙は日本工業規格A4とし、縦位置とする。

一般社団法人環境共創イニシアチブ(以下、「SII」という。)が執行する平成26年度補正予算「定置用リチウムイオン蓄電池導入支援事業費補助金」は、経済産業省が定めた「定置用リチウムイオン蓄電池導入支援事業費補助金交付要綱」第3条に基づき、国庫補助金から一般家庭及び事業所等にSIIが認める定置用リチウムイオン蓄電池を導入する方に交付するものです。

定置用リチウムイオン蓄電池導入支援事業費補助金の補助金実績報告を行うにあたり、下記の同意事項をよく読み、同意の上署名・捺印して実績報告時にご提出ください。

- 実績報告**：申請者は、本補助金の交付規程、応募要領、申請の手引きに記載されている内容をすべて承知の上で、一般社団法人環境共創イニシアチブ（以下、「SII」という。）に必要な申請書類をご提出ください。なお、提出された申請書をSIIが審査した結果、補助金の交付対象にならない場合があることを、申請者が承知した上で申請を行ってください。
申請者は補助対象機器の設置に係る下記すべてのことが完了していることを確認してから実績報告を行ってください。
①補助金実績報告書に記載された設置場所住所に補助対象機器が適切に設置されていること。
②蓄電システムの使用ができる状態であること。
また、申請者（申請代行者がいる場合は申請代行者も含む）は、提出前に必ず申請書をコピーし、控えておいてください。
- 交付決定通知受領前の補助対象機器の設置の禁止**：交付決定通知書を受領する前に補助対象機器の設置工事に着手した場合（設置工事が不要な補助対象機器は使用を開始した場合）は、それが補助対象機器であっても本補助金の交付対象となりません。
- 補助対象機器の購入**：申請者は、補助対象機器に係るすべての費用を現金払いにて支払いを完了してから実績報告を行ってください。現金以外の支払いの場合は、応募要領に定める条件を満たしている場合、申請が可能です。
- 重複申請の禁止**：申請者は、次のいずれかに該当するものについては、本補助金の申請をすることができません。
①本補助金の交付が、すでに上限金額に達している設置場所住所に設置する場合。
②申請案件について他の国庫補助事業等に重複して補助金の交付を受けている場合。
- 申請の無効**：申請者は、SIIに提出する申請書類には、如何なる理由があっても、その内容に虚偽の記載をしてはいけません。申請者が本同意事項及びその他の規約において認められないことを行う、あるいは行おうとした場合、又は調査等により交付対象とならないことが確認された場合、SIIはただちに当該申請を無効とし、当該申請者の将来における申請の受け付けを拒否することができます。
- 債権譲渡の禁止**：申請者は、本補助金の申請を行うことにより発生するSIIに対する債権について、第三者に対して譲渡、移転、又は担保に供することはできません。
- 取得財産の管理**：申請者は、補助金交付後6年以内に取得財産等を処分しようとするときは、あらかじめ「補助事業財産処分承認申請書」をSIIに提出し、その承認を受けるものとします。取得財産等を処分することにより申請者に収入がある、又は収入があると認められるときは、申請者はその収入の一部若しくは全部をSIIに納付するものとします。
- 申請代行者による申請手続き**：申請者は、本補助金の申請を第三者に依頼することができます。申請者から本補助金の申請の依頼を受けた者（以下「申請代行者」という。）は、申請書類の提出から補助金の交付が完了するまでの間、当該申請に係る手続きが円滑に進むよう補佐する義務及び責任を負います。申請者は、申請代行者に申請を依頼した場合であっても、当該申請に係る手続きが円滑に完了するよう協力しなければなりません。
- 申請の変更及び取り下げ**：申請者は、申請書類の提出から補助金の交付を受けるまでの間、当該申請書に記載する内容に変更が生じた場合又は実績報告を取り下げる場合は、速やかにSIIに連絡し、その指示に従わなければなりません。申請者が本項に規定する連絡を怠ったことによりSIIによる申請に係る審査ができない場合、SIIは当該申請者の申請を無効とすることができるものとします。
申請された内容の変更、申請の取り下げ又は申請が無効にされたことによって生じた申請者の不利益に対し、SIIの故意又は重過失に起因する場合は除き、SIIは申請者に対して一切の責任を負いません。
- 申請情報の訂正**：SIIは、提出された申請書類により申請書の記載内容が明らかに誤った情報であって、その誤りが軽微なものであることが判明した場合、その誤りについて「SIIによる訂正」及び「申請者に対する記載内容の変更指示」を行う権利を有します。SIIは訂正した情報について、申請者に通知を行う義務を負いません。
- 調査等への協力**：SIIは、本事業の適正な実施を図るため、申請者に対して必要に応じ電話による問い合わせや追加書類の提出、機器設置予定場所（住所）への立入りを含めた調査等の協力を依頼することがあります。申請者はSIIの求めに応じて、これらの調査等に協力しなければなりません。
- 免責**：SIIは、機器の不具合や故障、機器の販売・設置事業者、申請代行者、その他の者と申請者との間に生じるトラブルや損害について、一切の責任を負いません。また、SII及びSIIから申請受付業務を委託された者が申請書類を受け取る時点（SIIが定める郵送先に到着し、SIIによる引き取りを行った時点をいう。）以前に生じた申請書類の紛失、郵送等の遅延等の事故について、SIIはその一切の責任を負わず、その事故に起因して生じる当該申請者の損失に対していかなる義務も負いません。また住所等の変更について、申請者がSIIに対し連絡を行わなかったために、SIIからの通知物又は送付書類が延着、不着となった場合も同様に、SIIは当該通知物又は送付書類が、通常到着すべき時に申請者に到着したものとみなし、それに起因して生じる当該申請者の損失に対していかなる責任、義務を負いません。
- 個人情報の管理**：SIIは、本事業の実施運営にあたり、申請者から提出された個人情報について、個人情報データベースへの不正アクセスや個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩等の防止に関する適切な措置を行い、個人情報の保護に努めるものとします。SIIは本事業を通じて取得した情報を、本事業の目的の範囲内で、個人が特定されない形でSIIが開催するセミナー、シンポジウム、調査・分析等に利用することがあります。また、同一の補助対象機器に対し、国から他の補助金を受けていないか、重複受給の調査を行うために利用することがあります。
- 専属的合意管轄裁判所**：本同意事項に基づく補助金の申請に関して、申請者とSIIとの間に生じた紛争については、東京簡易裁判所又は東京地方裁判所を専属的合意管轄裁判所とします。
- 事業の内容変更、終了**：SIIは、国との協議に基づき、本事業を終了、又はその制度内容の変更を行うことができるものとします。この場合、SIIは本事業の終了、停止、契約の変更等によって申請者に何らかの損害、不利益が生じた場合であっても、当該損害等がSIIの故意又は重過失による債務不履行又は不法行為に起因するものでない限り、一切の責任を負わないものとします。事業の変更及び本同意事項の変更についてはSIIホームページ及びその他の告知物等で変更内容を公表した後は、変更の事実及びその内容を承諾したものとみなします。

上記の同意事項の内容に同意し、申請内容に間違いがないことを確認した上で署名・捺印します。

▼申請者が必ず署名・捺印ください▼

申請者 署名・捺印	
--------------	---

▼申請代行者の担当者が必ず署名・捺印ください▼
(申請代行者がいる場合のみ記入)

申請代行者 署名・捺印	担当者氏名	
----------------	-------	---

申請される方は本申請書のコピーをとり、お手元に大切に保管してください。
申請書に不備がある場合は、原則申請書類一式を申請者に返却します。

(備考)用紙は日本工業規格A4とし、縦位置とする。

(太枠内は必須項目)

記入日 平成 年 月 日

申請者情報	フリガナ	
	氏名	

申請者の振込先情報を記入してください。

振込先情報	どちらか一方に記入してください。	金融機関(ゆうちょ銀行以外)		
		金融機関コード(数字4桁)	振込金融機関名	
		支店コード(数字3桁)	支店名	
		預金種別(いずれか1つにチェックしてください)		口座番号(右詰めで記入してください)
		<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座 <input type="checkbox"/> 貯蓄 <input type="checkbox"/> その他()		
		口座名義人(カナ表記)		
		ゆうちょ銀行		
		記号(6桁目がある場合は※部分に記入してください)	番号(右詰めで記入してください)	
		1 0※	1	
口座名義人(カナ表記)				

「口座名義人」を記入する際には、必ず通帳に記載されているカタカナ表記部分の口座名義人をそのまま記入してください。なお、登録した振込口座の変更は原則として認められません。

●口座名義人(カナ表記)の記入上のご注意

例) 口座名義人「管理 省吾」(カンリ ショウゴ)と記入する場合

- ① 名字と名前の間にスペースを1マス空けてください。

カンリ ショウゴ

- ② 濁音、半濁音は1文字として記入してください。

カンリ ショウゴ

- ③ 小文字は大文字で記入してください。

カンリ ショウゴ

申請される方は本申請書のコピーをとり、お手元に大切に保管してください。

申請書に不備がある場合は、原則申請書類一式を申請者に返却します。



書類はこの用紙の左上でホッチキス留めしてください。

通帳・口座証明書(コピー) 貼り付け台紙

申請される方は本申請書のコピーをとり、お手元に大切に保管してください。

1 通帳もしくは金融機関発行の口座証明書(コピー)を用意してください。

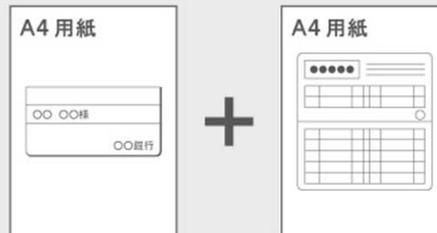
金融機関(ゆうちょ銀行以外)の場合

- ①金融機関名
- ②支店名
- ③支店コード
- ④口座番号
- ⑤口座名義人(カナ)

ゆうちょ銀行の場合

- ①記号
- ②番号
- ③口座名義人(カナ)

※ 通帳の場合、表紙と表紙裏ページ(支店名等が記載されているページ)のコピーが必要となります。



書類のチェック

必要項目は全て確認できますか？

コピーによる文字の潰れ、かすれ等はありませんか？

口座情報は申請者本人名義のものですか？

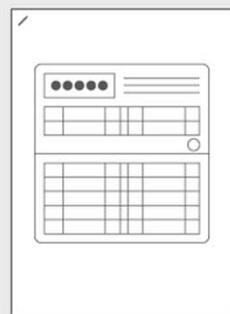
様式3の各情報と一致していますか？

2 この台紙の左上に合わせ、ホッチキスで留めてください。

①左上に合わせ、
重ねる



②ホッチキスで留める



申請書類は **折らずに**
留めてください



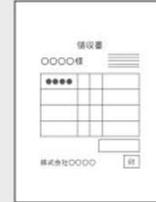
書類はこの用紙の左上でホッチキス留めしてください。

蓄電システム 領収書(コピー) 貼り付け台紙

申請される方は本申請書のコピーをとり、お手元に大切に保管してください。

1 以下の内容がはっきりとわかる蓄電システムの領収書(コピー)を用意してください。

- 宛名
- 発行者名
- 蓄電システムに係る購入日
- 蓄電システムに係る購入金額
- 蓄電システム メーカー名
- 蓄電システム パッケージ型番
- 収入印紙(収入印紙が不要の場合は、**3**に理由を記入してください。)



書類のチェック	購入者名は 様式1 の申請者氏名と一致していますか?	<input type="checkbox"/>
	販売者名は 様式6 の販売事業者名と一致していますか?	<input type="checkbox"/>
	購入日は明記されていますか?	<input type="checkbox"/>
	印紙税法に則った収入印紙が貼付されていますか? (収入印紙が不要の場合は、 3 に理由を記入してください。)	<input type="checkbox"/>
	領収金額(合計)は 様式6 の領収書額と一致していますか?	<input type="checkbox"/>
	設置した蓄電システムのメーカー名・パッケージ型番は明記されていますか?	<input type="checkbox"/>
	明記されているメーカー名・パッケージ型番は他の書類と一致していますか?	<input type="checkbox"/>
	補助対象機器の購入に係るすべての費用を現金で支払われていることが確認できますか? (現金以外での決済方法については、必ず「申請の手引き」P.35-38をご確認ください。)	<input type="checkbox"/>

2 この台紙の左上に合わせ、ホッチキスで留めてください。
(ホッチキスで留めることができない場合は、クリップで留めてください。)

①左上に合わせ、
重ねる



②ホッチキスで留める



申請書類は **折らずに**
留めてください

3 収入印紙が不要の場合は、下記にその理由を明記してください。

下記の通り、実績報告を行う蓄電システムの機器費用を証明いたします。

(太枠内は必須項目)

記入日 平成 年 月 日

申請者情報	申請者氏名	フリガナ	
		氏	名

領収金額	領収書額 (領収書記載の 総額)											円	※添付した領収書に記載されている金額をそのまま記入してください。
		億	百万	千									

販売事業者情報	事業者名											印			
	支店・部署名														
	販売事業者住所	フリガナ													
		〒											都 道 市 区 府 県 町 村		
担当者氏名											携帯番号	0	0	—	—
												電話番号	()	—

↓事業者印(社名が確認できるもの)

建物名・階数・部屋番号がある場合は必ず記入してください。

設置機器情報	パッケージ型番											※パッケージ型番は「- (ハイフン)」や「/ (スラッシュ)」等まで正しく記入してください。		
	↓領収書に含まれている設置機器金額(税抜)のみを記入してください。													
	設置機器金額 (税抜)												円 (税抜)	※補助対象となるのは蓄電システム購入金額のみです。設置工事に係る費用等、SIIIに認められていない費用を含むことはできません。詳しくは応募要領等を確認してください。
		億	百万	千										

※設置機器情報に記載した内容を様式1「設置機器・補助金情報」欄に記入してください。

申請される方は本申請書のコピーをとり、お手元に大切に保管してください。
申請書に不備がある場合は、原則申請書類一式を申請者に返却します。

(備考)用紙は日本工業規格A4とし、縦位置とする。

平成26年度
補正予算定置用リチウムイオン蓄電池
導入支援事業費補助金

設置・引渡し完了証明書

様式 7

下記の通り、蓄電システムを使用できる状態で引渡しが完了したことを証明いたします。

(太枠内は必須項目)

記入日 平成 年 月 日

申請者情報	申請者氏名	フリガナ 氏 名	
	蓄電システムを 設置した住所	〒□□□□ - □□□□ 都 道 市 区 府 県 町 村 建物名・部屋番号がある場合は必ず記入してください。	

↓事業者印(社名が確認できるもの)

設置事業者情報	設置事業者名		印
	支店・部署名		
	設置事業者 住所	〒□□□□ - □□□□ 都 道 市 区 府 県 町 村 建物名・階数・部屋番号がある場合は必ず記入してください。	
担当者氏名	携帯番号	0 0 - -	
	電話番号	() -	

設置工事情報	設置工事 着工日	平成 年 月 日	※設置工事の着工日と完了日が同日の場合は、着工日・完了日それぞれに同じ日付を正しく記入してください。 ※設置工事が不要な場合等の記載については、応募要領等を参照してください。
	引渡し完了日	平成 年 月 日	

設置機器情報	パッケージ型番	※パッケージ型番は「- (ハイフン)」や「/ (スラッシュ)」等まで正しく記入してください。
--------	---------	--

↓蓄電システム設置場所に併設されている(同時設置も含む)設備があればチェックを入れてください。(複数選択可)

併設機器情報	併設機器	<input type="checkbox"/> HEMS機器	<input type="checkbox"/> 太陽光発電システム
		<input type="checkbox"/> 電気自動車(EV)、 プラグインハイブリッド自動車(PHV)	<input type="checkbox"/> ガスコージェネレーションシステム (エネファーム等)
		<input type="checkbox"/> 蓄熱式給湯器 (エコキュート等)	<input type="checkbox"/> 特になし
		<input type="checkbox"/> その他 ()	

申請される方は本申請書のコピーをとり、お手元に大切に保管してください。
申請書に不備がある場合は、原則申請書類一式を申請者に返却します。

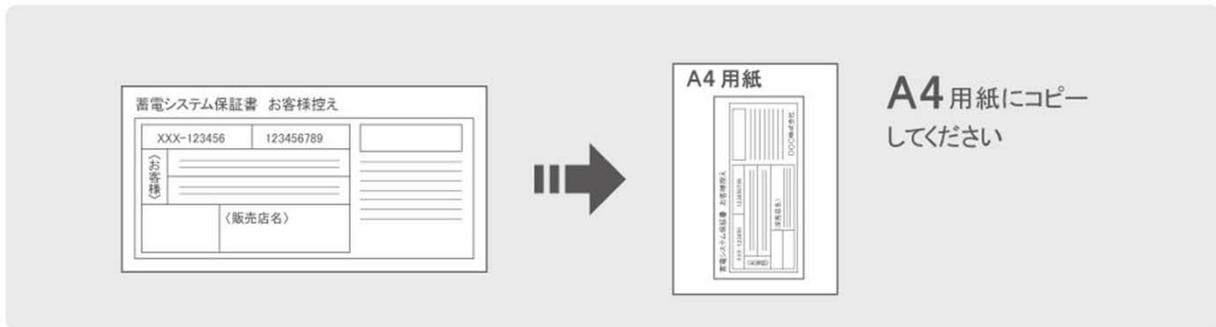


書類はこの用紙の左上でホッチキス留めしてください。

蓄電システム 出荷証明書(コピー) 貼り付け台紙

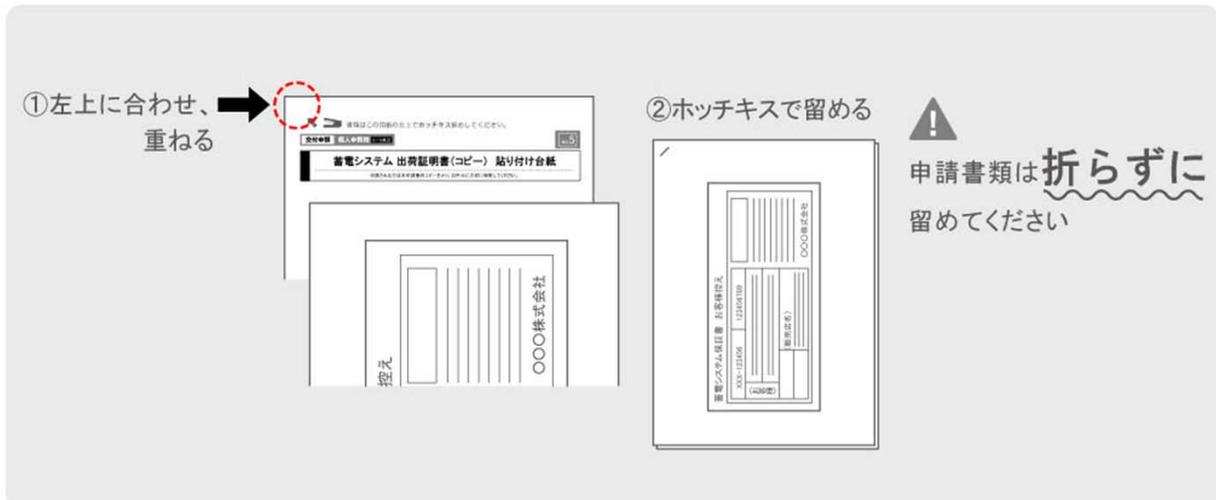
申請される方は本申請書のコピーをとり、お手元に大切に保管してください。

- 1** 以下の内容がはっきりとわかる蓄電システムの出荷証明書(コピー)を用意してください。



書類のチェック	使用者控え(お客様控え等)の出荷証明書(コピー)ですか? (販売店控えの出荷証明書は認められません。)	<input type="checkbox"/>
	出荷証明書の記入欄はすべて記入されていますか?	<input type="checkbox"/>
	出荷証明書は途中で切れることなくコピーされ、全体を確認することができますか?	<input type="checkbox"/>
	コピーによる文字の潰れ、かすれ等はありませんか? (記載内容が不明瞭なものは不備になります。)	<input type="checkbox"/>
	設置した蓄電システムのパッケージ型番は確認できますか?	<input type="checkbox"/>
	パッケージ型番及び製造番号は 様式9 の銘板印字内容と一致していますか?	<input type="checkbox"/>

- 2** この台紙の左上に合わせ、ホッチキスで留めてください。





書類はこの用紙の左上でホッチキス留めしてください。

蓄電システム 銘板写真 貼り付け台紙

申請される方は本申請書のコピーをとり、お手元に大切に保管してください。

1 蓄電システムに貼付されている銘板の写真を用意してください。

- ※写真はカラーで、サービス判（Lサイズ127×89mm）以上としてください。
- ※蓄電システムパッケージ型番等がはっきりと見える写真。



蓄電システムの銘板写真



書類の
チェック

カラーでの印刷またはカラープリント写真ですか？

銘板の記載内容はすべて明確に読み取ることができますか？
（ピントは合っているか、光の反射はないか、記載内容が画像からはみ出して消えていないか等）

銘板のパッケージ型番、製造番号は様式8と一致していますか？

2 この台紙の左上に合わせ、ホッチキスで留めてください。

①左上に合わせ、
重ねる



②ホッチキスで留める



申請書類は折らずに
留めてください



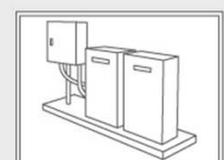
書類はこの用紙の左上でホッチキス留めしてください。

蓄電システム 設置完了写真 貼り付け台紙

申請される方は本申請書のコピーをとり、お手元に大切に保管してください。

1 設置済みの蓄電システムの写真を用意してください。

※写真はカラーで、サービス判
(Lサイズ127×89mm)以上としてください。



蓄電システムの設置写真



書類の
チェック

カラーでの印刷またはカラープリント写真ですか？

写真のピントは合っていますか？

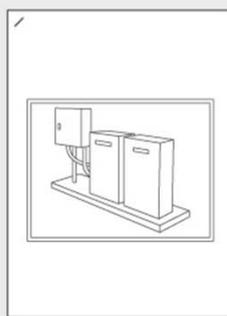
蓄電システムが使用できる状態で引渡し完了後に撮影された写真ですか？

2 この台紙の左上に合わせ、ホッチキスで留めてください。 (ホッチキスで留めることができない場合は、クリップで留めてください。)

①左上に合わせ、
重ねる



②ホッチキスで留める



申請書類は 折らずに
留めてください